



◆ アレルギー支援ネットワーク 通信 ◆



NO. 95 2014.11.1

※等幅フォントでご覧いただくと最適に表示されます。

☆☆☆【無料ダウンロード配信スタート】食物アレルギーひやりはっと事例集 2014☆☆☆

この度、消費者庁の委託事業として、藤田保健衛生大学医学部 客員教授 宇理須厚雄先生らにより、2014年10月に発刊された「食物アレルギーひやりはっと事例集 2014」を10,000部増刷し、全国各地の関係機関（医療機関や園・学校、子育て・教育関連の施設などアレルギー児に関わる施設をはじめ各地で活動している「アレルギーの会」など）を対象に、1施設・1団体につき1冊無償配布いたします。

お申込み方法などは決まり次第アレルギー支援ネットワークのホームページでご案内しますので、ご希望の方はホームページを定期的にチェックしてくださいね。

個人の方は、同じくホームページより無料でダウンロードしていただけますので、そちらをご利用ください。

【ダウンロードはこちら】<http://www.allie-net.com/info/info06/info-01-3/>

それでは、今月のメルマガをお楽しみ下さい♪

===== も く じ =====

- 1、保健文化賞 贈呈式に出席して
- 2、第10回 アレルギー科医師「リレートーク」
- 3、アレルギーっ子のおいしいレシピ 『お芋のスコッチエッグ?』 丹羽恵子
- 4、第9期アレルギー大学 記念講演・研究実践発表のご案内
- 5、賛助会員からのメッセージ
  - QOLトラベル ☆アレルギー対応旅行のご紹介☆
- 6、第7回 千葉アレネット情報
- 7、アレルギーっ子の防災
  - ★東海アレルギー連絡会 交流会のご案内
  - ★★「東海・関西・中国地域 防災対策ネットワーク会議 in 和歌山」開催のお知らせ
  - ★★★第13回「クロスロード活用事例」防災士 中根輝彦
- 8、アレルギーが心配な保護者の方へ
  - ★アレルギーの子を持つ親の会からのメッセージ
    - 第13回 岡崎アレルギーの会
  - ★★名古屋市内患者会「調理実習 パッククッキング」のご案内
  - ★★★11月「アレルギー児の親の交流会」開催のお知らせ
- 9、おすすめ♪講習会・イベント情報のお知らせ
- 10、Gooddo（グッドゥ）でアレルギー支援ネットワークを応援して下さい！！

=====

---

## 1、保健文化賞 贈呈式に出席して

---

この度、認定NPO法人アレルギー支援ネットワークは第一生命保険株式会社主催の第6回保健文化賞を受賞しました。

10月7日の贈呈式に出席し、8日の宮中参観に参加し、天皇皇后陛下に拝謁してきました。大変名誉ある機会を与えていただき、感謝しています。

これも当ネットワークの関係者の皆様、特にスタッフ、理事、アレルギー大学の講師の皆様、アレルギーの会の皆様、東日本大震災での被災地支援活動にご尽力いただいた皆様のお陰であり、深く感謝申し上げます。

この賞は昭和25年に第一生命保険株式会社によって設立されたもので、厚生労働省、朝日新聞厚生文化事業団、NHK厚生文化事業団が後援しています。民間の第一生命保険会社が設立した保健文化賞に宮中参観、天皇皇后陛下の拝謁までであることに、驚き戸惑いました。と同時に権威のある賞であることを痛感しました。

その源は創業者（1902年創業）の矢野恒太社長の高い先見性、構想力、実行力、博愛精神に由来するようです。当時は結核が国民病と呼ばれるほどに猛威を振るい、15歳から35歳の少年、壮年者の前死亡の3分の1は結核によるものでありました。

第一生命保険会社は1935年に独力で結核撲滅のための財団法人「保生会」を設立し、結核患者の長期療養のために、「保生館」という結核療養所を建設するとともに、無料の健康相談所を設けて、早期発見・早期治療を目指しました。

この考えは現在でも公衆衛生活動の中心課題になっています。その活動が香淳皇后に認められ、1939年に「官民協力して結核の予防と治療に当たるように」との令旨を賜り、金50万円が下賜され、厚生省は「財団法人結核予防会」を新設したとのことです。

しかし当時は日中戦争中で、物資難の時代でありました。新設の「財団法人結核予防会」は苦境に立たされ、病院を建てることもできない有様でした。

これを見かねた矢野恒太社長は完成したばかりの「保生会」の全施設を「財団法人結核予防会」に寄付したとのことです。

このような戦前に、保健衛生にまで進出し、社会貢献するという伝統（DNA）があったので、戦後まだ物資難の時代に保健衛生施策の向上のために保健文化賞を設立したようです。

また第一生命保険会社ビルは敗戦直後に連合国に接收され、その総司令部（GHQ）の置かれた場所でもあります。その柱を見、建物に入れた時には、ここからマッカーサー元帥が指令を出し、新憲法が誕生し、戦後レジームが発祥したかと思うと、感慨深いものがありました。

7日の贈呈式で、NHK厚生文化事業団理事長の浅谷友一郎様は祝辞の中で、当アレルギー支援ネットワークの活動を紹介し、高く評価して下さいました。内容は本応募に推薦して下さった国立生育医療研究センターの五十嵐 隆総長の推薦文に沿ったものでした。ご尽力いただいた二村先生、坂本先生に厚くお礼申し上げます。

この受賞の最大の功労者は、故栗木成治さんであります。彼の推進力、構想力、決断力によってアレルギー支援ネットワークはここまで歩むことができました。そこで彼にこの晴れの式を見てほしい、彼に報告したいとの思いから、額縁に入れた彼の写真を持参し、待合室の机、祝賀会のテーブルの上に置きました。

8日は、12時50分に集合なので、青木さん、中西さん、鹿嶋さんと昼食をとった後、第一生命ビル6階の控え室に行きました。13時10分の送迎バスに乗って、出発直前に栗木さんの写真を忘れたのに気付き、出発を待っていただき、控え室に戻り、写真を持参することができました。

皇居へは、東京駅中央口の対面にある坂下門から入り、宮殿東庭と呼ばれる広場で記念写真を撮りました。ここは新年と天皇誕生日に一般参賀ができる庭です。これに面して長和殿があり、そのバルコニーから天皇皇后陛下、皇族方が一般参賀者にお応えになります。

拝謁は長和殿の松風の間で行われました。14時に両陛下がお見えになり、まず厚生労働省の新村健康局長が拝謁の趣旨を述べ、陛下から今後とも保健衛生に精進するようのお言葉がありました。

私は記念写真撮影のときも、拝謁のときも栗木さんの写真を抱いていました。お言葉が終わった後、陛下は写真に興味を持たれたようで、私の方へ進んで来られ、どなたの写真かとお尋ねになりました。私どもアレルギー支援ネットワークの創始者で、今回の受賞も彼のお陰ですと答えました。胸がドキドキし、まごついたように思いますが、皇后陛下が、陛下のやや右後に控えていた姿が印象的でした。拝謁はそれで終わりました。

皇居参観中に、第一生命の渡邊光一郎社長から、陛下が拝謁者にお言葉を掛けることは極めて稀であり、写真を持参してよかったネと言われました。

この度、拝謁という栄誉を与えて下さった皆様に感謝します。特に栗木さんの写真を準備して下さった、中西さんをはじめスタッフの皆さんに感謝します。

お陰さまで、栗木さんを天皇陛下に紹介することができました。

アレルギー支援ネットワーク

理事長 須藤千春

---

## 2、アレルギー科医師「リレートーク」 第10回

---

11月に入り、夜は少し肌寒くなって来ましたが、日中はまだまだ過ごしやすい季節ですね。

秋は食欲の秋、読書の秋、スポーツの秋など、色々な事をするのに良い時期です。そんな季節に僕も街をぶらぶらしていたら、今池交差点に馬の親子の像がある事に気がつきました。皆さんも見た事あるでしょうか？この3頭の馬の像を。なぜここにあるのだろうと興味が湧き調べてみる事にしました。



すると、昔は今池の周辺はため池が多い地域で、街道のすぐ近くにあったため池で馬に水を飲ませたり、水浴びをさせたりしていたそうです。その池がいつしか『馬池』と呼ばれる様になり、更にそれが訛って『今池』となったそうです。なんと、地名の由来になった馬が交差点に鎮座していたのです。面白いですね。

例えば、『ミシン』や『ラムネ』といった様に他にも日本語の中には、訛ったり、聞き間違えがそのまま定着した言葉が多くあります。興味のある方は是非調べてみて下さい。

そんな地名の由来を調べてから少しして、この原稿の依頼が来ました。ふと普段頻繁に使っている『アレルギー』と言う言葉はどこから伝わってきたのだろう。元々はどんな意味なのだろう。と思い、調べてみる事にしました。

まず有名な国語辞典である広辞苑を調べてみると、以下の様な内容が記載されていました。

**アレルギー**【Allergieドイツ】

抗原として働く物質の注射・摂取により抗体を生じ、抗原抗体反応をおこす結果、抗原となった物質 に対する生体の反応が変る現象。広義には免疫すなわち抗原の害作用への抵抗の増大も含まれるが、狭義には反応の変化の結果傷害的な過敏症状を呈するものをいい、アナフィラキシー反応、アレルギー性細胞傷害、免疫複合体反応（アルツス反応）、遅延型過敏症（細胞性免疫反応）の各型がある。アレルギーの原因となる抗原物質を**アレルゲン**という。1906年オーストリアの小児科医ピルケ（C. Pirquet1874～1929）の命名。

オーストリアの小児科医がドイツ語？と思いましたが、当時は医学と言えばドイツと言う事から来ているのでしょうか。

ではその「アレルギー」という言葉はどの様に生まれたのでしょうか。更に詳しく調べてみると、起源はドイツ語ではなくギリシャ語でした。ギリシャ語で「変わった」/「奇妙な」を意味する「allos」と、「作用」/「反応」を意味する「ergon」を合わせ、ドイツ語風にした造語だと言う事がわかりました。ドイツ語風って言うのが可愛らしい感じですが、元々の意味は「奇妙な反応」と言う事です。

確かに今でこそ医学は発達し、情報もネットで直に得る事が出来る世の中でアレルギーとは比較的当たり前な出来事になっているのかもしれませんが、1世紀以上も前であれば「奇妙な反応」と言う言葉がじっくり来たのかもしれませんがね。

さて、今回の内容はいかがでしたか。日常の中で何気なく使っている言葉を調べてみるのも面白いかもしれませんね。皆さんもそれぞれの秋を楽しんで下さい。

あいち小児保健医療総合センター  
アレルギー科 林 直史

---

### 3、アレルギーっ子のおいしいレシピ 『お芋のスコッチエッグ?』 丹羽恵子

---

卵が食べられなくても、卵風は味わえます。  
冷めても美味しいので、お弁当にもピッタリ♪



---

#### 4、第9期アレルギー大学 記念講演・研究実践発表のご案内

---

5月より開講してから約半年に渡って各地で開催してまいりました第9期アレルギー大学を締めくくる講座は、記念講演・研究実践発表です。

今期の記念講演は名古屋でご活躍の藤田保健衛生大学医学部 客員教授の宇理須厚雄先生、そして新潟県立大学人間生活学部子ども学科教授 沼野みえ子先生と各地でご活躍されている先生方の講演を予定しております。

また、アレルギー大学の受講生・修了生による、職場・家庭での研究実践・活動報告では、栄養士・調理員・アレルギー児の母親・企業の取り組み等、それぞれの立場から現場の生の声をとどけていただく大変興味深い内容となっております。

どうぞ、皆さまお誘い合わせのうえ、アレルギー大学記念講演・研究実践発表をご受講下さい。

皆さまからの講座お申込みお待ちしております。

---

#### 5、賛助会員からのメッセージ

##### QOLトラベル ☆アレルギー対応旅行のご紹介☆

---

こんにちは、QOLトラベルです。

京都のアレルギー支援 NPO『ぴいちゃんねっと』のアレルギー対応旅行企画(和歌山旅行)をご紹介します。

12月13日・14日(土日)1泊2日の、白浜・田辺旅行。

パンダに会える「アドベンチャーワールド」にご案内！！

ご旅行中の食事は全て、10品目完全除去(法定7品目と大豆・ゴマ・ナッツ類)。

※朝8:30 京都駅 or 朝9:00 新大阪駅に集合できるかた、25名様対象。

モニター補助付きで、おとな35,000円・小学生以下25,000円

(集合場所からの移動・宿泊・食事・観光、全て含む金額)

で、お手続き受付中！

お手続き締め切り：11月10日。

▼「受注型企画旅行」としてQOLトラベルが請けています。

お手続きは、こちらから：

<https://www.fcrest.co.jp/new/application/index?tourNO=31>

(出発 3 週間前まで、キャンセル料等かかりません)

---

◆◇◆『アドベンチャーワールドでパンダに会おう!』◆◇◆

～和歌山アレルギー対応旅行 グループツアー～

主催：ぴいちゃんねっと、販売：QOL トラベル (受注型企画旅行)

---

<http://www.allergy-k.org/infomation/post-268.html>

■ 旅行先：白浜町・田辺市(ホテルハーヴェスト南紀田辺、泊)

集 合：朝 8:30 京都駅 or 朝 9:00 新大阪駅

■ 旅行日程：2014 年 12 月 13 日・14 日 (土日) 1 泊 2 日

■ 旅行代金、おひとり様あたり：

・おとな 35,000 円

・小学生以下 25,000 円

・未就学児無料

※ 集合場所からの貸切バス、宿泊、全ての食事、観光を含む。

■ ご旅行中の食事は全て、10 品目完全除去

(除去：乳、小麦、卵、そば、落花生、エビ、カニ、ゴマ、大豆、ナッツ類)

▼ QOL トラベル・アレルギー対応旅行についてはこちら▼

・QOL トラベル ホームページ：<http://qoltravel.net/>

・QOL トラベル Facebook ページ：<https://www.facebook.com/qoltravel>

・ご質問等、下記メールアドレスまでお気軽に！ [guide@qoltravel.com](mailto:guide@qoltravel.com)

---

## 6、第 7 回 千葉アレネット情報

---

こんにちは。

NPO 法人千葉アレルギーネットワーク 副理事長 桐谷 利恵です。

【アレルギー大学千葉会場上級コースが始まりました】

10/18 千葉会場初めての上級コースが始まりました。鈴木修一先生から最新医療・食事指導についての講義があり、その中で食物アレルギー児における、いじめの問題のアメリカでの研究報告などもありました。

それらを踏まえて午後のディスカッションは「地域に風を送ろう」ということで5つのグループに分かれてグループディスカッションをして発表していただきました。

鈴木先生に「地域に風を送ろう」というテーマを伺った時に正直、漠然としていて難しいのではないかと思いました。しかし、受講生の皆さんは私の想像を遥かに超えていて、5つのグループそれぞれ素敵な企画を考えてくれました。

地域で食物アレルギーのことを知ってもらうためにどういう連携を取って行けば良いか、卵、乳、小麦に対応した親子お料理教室、アレルギースクールというアレルギー大学の分校を小学生対象に小学校の中で行う、就学時検診の子を対象とした卵対応のクッキーを作るお料理教室、園児や保護者対象の食物アレルギー対応給食の試食会…

すべてが食物アレルギーの子だけじゃなくてそれ以外の人も参加してもらって、理解してくれる人を増やそうって企画でした。

今すぐは無理でも絶対に実現してくださいとお願いしました。千葉アレルギーネットワークでもお手伝いさせていただける、いや、させてくださいって企画ばかりです。

受講生の皆さんも充実した時間を過ごせたという顔ばかりで、運営している私たちもとても嬉しい講座となりました。



#### 【11月のノンアレカフェ】

11月28日（金）11時半から14時までです。

メニューはHPをチェックしてください。

#### 【ちばユニバーサル農業フェスタ】

11月22日（土）10時から15時まで四街道市文化センターにて「ちばユニバーサル農業フェスタ」があり、NPO 法人千葉アレルギーネットワークも出展いたします。お近くの方は



ぜひ遊びにいらしてください。

卵、乳対応のお菓子の販売も行います。「アレルギー相談コーナー」もあり、食物アレルギーの生活について先輩ママよりアドバイスいたします。

---

## 7、アレルギーっ子の防災

### ★東海アレルギー連絡会 交流会のご案内

---

2000年11月、愛知でアレルギーの会全国交流会を開催した際、東海地区のアレルギーの会が協力して開催地実行委員会を作り、その準備をおこないました。

また、阪神淡路大震災の時には、関西でアレルギーの連絡会が組織されていたため、助け合うことができたという教訓を受け継いで、震災対策など日常的な協力関係を持つ会をつくろうと意見がまとまり、会の運営申し合わせなどを確認し、2001年6月に発足しました。

以来、年に3回程度の交流会と、年に1回の総会を開催し、震災対策はもちろんのこと、会の運営や給食など地域の問題も含めて、経験交流をしています。

#### <2014年度 第3回交流会>

日時 2014年11月29日(土) 13:30-16:30

場所 中村生涯学習センター 第3集会室

- 内容
- 1.各地の防災訓練 報告と情報交換
  - 2.南海トラフ地震に備えて
  - 3.東海・関西・中国地域ネットワーク会議ご案内
  - 4.その他

患者会に参加をしていない方も、患者会が無い地域の方、アレルギーっ子の災害対策が心配な方も、どなたでも参加できます。

地域の患者会は、こちら・・・

<http://www.aller-net.com/network/network04/network04-03/>

皆さまのご参加をお待ちしています。

東海アレルギー連絡会

事務局 中西里映子

---

## 7、アレルギーっ子の防災

★★「東海・関西・中国地域 防災対策ネットワーク会議 in 和歌山」開催のお知らせ

---

昨年に引き続き、今年も食物アレルギー・アトピー性皮膚炎・ぜん息などアレルギー疾患のある方達の災害時の対策について、第2回目の広域ネットワーク会議を開催します。

近年、心配される地震災害に加え水害や土砂災害など、多くの自然災害が起きています。今年度は、より具体策の構築のため第1部研修会・第2部会議と充実した内容を準備しました。各々の取組みや注意事項を学び、災害時のネットワークの構築を目指します。

会場は、南海トラフの地震では実際に大きな被害が予測されている和歌山県紀伊田辺市で開催します。(アレルギー対応ツアー実施地でもあるので、ご家族でご参加いただけます。)

詳しくは、チラシをご覧ください。

初めてのご参加、患者会に所属しない方のご参加も大歓迎です。

どのような立場の方も共に、災害時の対策を考えましょう。

皆様のご参加をお待ちしています。

アレルギー支援ネットワーク

理事 中西里映子

---

## 7、アレルギーっ子の防災

★★★第13回 2014.10.22「クロスロード活用事例」 防災士 中根輝彦

---

メルマガをお読みの皆さん、こんにちは。防災士の中根輝彦です。今回も災害復旧支援・防災におけるアレルギー支援の取り組み事例について紹介いたします。

前回は、「自治体のガイドラインやマニュアルへの要望申し入れの事例」について紹介しました。今回は、「クロスロード活用事例」について紹介します。

第11回の原稿で「防災啓発ツールへの反映」と題して、いろいろなツールを紹介しました。災害時のアレルギー支援が必要なことをツールに織り込み、アレルギー関係者以外にも広めようという試みを提案しました。今回はクロスロードに絞ってもう少し詳しく紹介し、アレルギー支援の啓発ツールとしての可能性について掘り下げてみたいと思います。

クロスロードの詳細については、

<http://www.s-coop.net/rune/bousai/crossroad.html>

にて紹介されています。

クロスロードは、阪神淡路大震災の経験を元に作られた、難しい決断に迫られる災害対応を疑似体験するゲームです。「こちらを立てればあちらが立たず。でも、どちらかを選ばなければならない。相談できる人はいない。自分で決めなければならない。ゆっくり考えている余裕はない。さて、Yes/No どっち？それでみんな納得できる？」というモヤモヤ体験をさせられます。

このような悩ましいジレンマは、日常生活のいたるところで見受けられますよね。ジレンマ解決はいつでもどこにでもある課題です。このゲームも防災啓発から始まって、各種テーマへ広がって「〇〇編」というのがいくつも開発されています。

神戸クロスロード研究会が主催する「千人クロスロード 2014」のプレイイベントとして、9月28日にクロスロード体験会が開催されました。

ここで紹介されたクロスロードの現状についての説明によると、神戸編、一般編、市民編、海上保安庁編、高知編、災害時要援護者編、学校安全編、感染症編・新型インフルエンザ編、食品安全編、子育て編、生活保護ケースワーカー編、まちづくり職員編、環境編など、インターネットの情報では、災害ボランティア編、土砂災害編、みちのく版、薬学教育編、部活動編、披露宴版など、ほかにもまだあるようです。

ゲームはシンプルが故に応用が利くし、誰もが取り組める。それでいて悩ましい状況の想像と共有、Yes/Noの決断、理由づけ、優先順位づけ、グループメンバーの意見の理解・推測、多数決によらない合意、希少意見の尊重、など多様な体験や気づきが得られる。シンプルだけど奥深い体験ができるのがこのゲームの魅力だと思います。

さて、このゲームをアレルギー支援のツールとしてどのように活用するか？ここからが本題です。

前述のように、このゲームはジレンマ解決をどうやるかがテーマですから、アレルギー支援の場でどのような状況が起こりうるか、解決が困難なジレンマとしてどんな問題があるか、アレルギーの当事者だからこそ気づく悩ましいジレンマ、そういった事例を集めて、クロスロード「アレルギー編」を作り、一般の方々と一緒に考える機会を持たせたら…。

ということで、アレルギー関係者の経験を集めて、クロスロード「アレルギー編」を作れませんか？というのが、今回の提言であります。

いきなりゲームを作るのは敷居が高いということなら、まずは、クロスロード体験をして

みませんか？12月23日に神戸・高知・仙台ほかの会場をつないで「千人クロスロード2014」が開催されます。防災にかかわる多くの方々が集い、防災への備えを考えるイベントです。

この原稿は、アレルギーっ子の防災がテーマですから、アレルギーっ子向けの日頃の防災の備え、被災時の行動、避難生活の困りごと、支援者とのやり取りの中で生じるトラブル例などが集まることを期待したいと思います。これらが防災活動の一環としてクロスロードに取り組む人たちに活用され、アレルギー支援の必要性が一般の方々に理解されるのに役立つツールとなることを望みます。

なお、クロスロード〇〇編の登録にあたっては、クロスロード新聞第33号（2012.5.5発行）に記載されているように、チームクロスロードと覚書を締結する必要があります。クロスロードは登録商標です。

千人クロスロード

<http://crossroad2014.jimdo.com/>

クロスロード新聞第33号

<http://maechan.net/crossroad/document/shinbun36.pdf>

今回は、「クロスロード活用事例」について紹介しました。

次回は「アレルギー対応の防災訓練事例」について紹介します。

防災士 中根輝彦

日々つぶやいています。

@TeruhikoNakane

内容は筆者個人の考え方に基づくものです。アレルギー支援ネットワークを代表するもの、方針を反映したものではありません。

ご意見ご感想をいただくと嬉しいです。次の原稿を書く励みになります。アレルギー支援ネットワークの事務局まで、お寄せ下さい。

宛先：info@alle-net.com

---

## 8、アレルギーが心配な保護者の方へ

### ★アレルギーの子を持つ親の会からのメッセージ

#### 第13回 岡崎アレルギーの会

---

こんにちは「岡崎アレルギーの会」の恒川です。

岡崎アレルギーの会は、現在アレルギー支援ネットワークの常務理事をされている中西さんが立ち上げられたアレルギーっ子を持つ親の会です。

月1回の定例会では、市内の保育園幼稚園のアレルギー対応について情報交換したり、学校給食について話し合ったり、時にはアレルギーっ子も安心して美味しく食べられるお料理作りも行っています。

先日は、短い時間でしたが岡崎在住の衆議院議員、重徳和彦先生との懇談会で要望などを聞いていただける機会もありました。

現在、20名ほどで活動していますが、これからも広報に力を入れてアレルギーに悩んでいる親御さんの心の拠り所、ホッとできる場所を目指していきたいと思っています。

岡崎アレルギーの会では、11月21日(金)10:00～12:00 北部交流センターなごみんにて、アレルギー支援ネットワークの管理栄養士 榊原理恵さんをお招きして「食物アレルギーっ子の栄養の補い方」を開催します。(無料)

参加してみたいと思われた方はメールで、[info@okazaki-allergy.net](mailto:info@okazaki-allergy.net)へお申し込み下さい(申込締め切り 11/19)

---

## 8、アレルギーが心配な保護者の方へ

★★名古屋市患者会「調理実習 パッククッキング」のご案内

---

名古屋市内で活動をしている患者会が企画をし、調理実習を開催します。  
名古屋市内・名古屋市近郊にお住まいの方もご参加できます。

日時 11月11日(火) 10:00-13:30 (終わり次第自由解散.14時終了)

場所 南区在宅サービスセンター5F 調理室(南区役所内)

内容 パッククッキング

パッククッキングとは

- ・・・耐熱ポリプロピレン袋を用いた、家庭版真空調理法です。ポリ袋に食材を入れて、空気を抜き、沸騰しているお湯で煮ることです。
- 一つの鍋で色々と同時に調理できます。

講師 西川賢次氏

赤十字救急法指導員、防災士、パッククッキングインストラクター

申込締切 11月3日(月・祝)

本事業は、「なごや子どもとつくる基金」の助成を受けて実施いたします。  
詳しくは、チラシをご覧ください。皆様のご参加をお待ちしています。

アレルギー支援ネットワーク  
理事 中西里映子

---

## 8、アレルギーが心配な保護者の方へ

### ★★★11月「アレルギー児の親の交流会」開催のお知らせ

---

食物アレルギー、アトピー性皮膚炎、ぜん息など、アレルギーのお子さんの事、アレルギーかな？と、お悩みのある方、スキンケアや食事の事、園や学校についてなど、私たちと一緒にお話をしませんか？どこの交流会へも参加可能です。

交流会を実施している区外、或いは近郊の市町にお住まいの方の参加やお問い合わせも多く、ご要望の多いところから順に交流会の開催準備をすすめています。

会に参加ご希望の方は、アレルギー支援ネットワーク事務局までお気軽にお問い合わせください。皆さまのご参加をお待ちしております。

【対象】0歳～中学生位までのアレルギー児の保護者

【参加費用】各交流会に確認して下さい。

【各地の患者会】

<http://www.alle-net.com/network/network04/network04-03/>

【アレルギー支援ネットワーク事務局】

電話：052-485-5208

URL：<http://www.alle-net.com/>

---

## 9、おすすめ♪勉強会・イベント情報のお知らせ

---

アレルギーに関する勉強会・イベント情報などをホームページにて掲載しております。  
皆さまの情報交換の場として、是非ご活用ください。

詳しくはこちらをご覧ください。

<http://www.alle-net.com/info/info07/info07-08/>

---

10、Gooddo（グッドゥ）でアレルギー支援ネットワークを応援して下さい！！

---

アレルギー支援ネットワークは、ソーシャルグッドプラットフォーム gooddo（グッドゥ）に参加しております。

<http://gooddo.jp/gd/group/allisien/?md=fb>

上記のリンクから gooddo のアレルギー支援ネットワークのページに行き、毎日ぜひ『応援する！』をクリックして下さい。（クリックにお金はかかりません）

クリックによって 20～1000 ポイントがアレルギー支援ネットワークの支援のために加算され、ポイントに応じて応援企業から支援金が「アレルギー支援ネットワーク」に届けられます。

他にも gooddo 内ではいいね！やお買い物でもご支援頂く事ができます。  
ぜひ「応援する！」「いいね！」でご支援、ご協力をお願いいたします！

<http://gooddo.jp/gd/group/allisien/?md=fb>

▼gooddo（グッドゥ）とは？

自分の応援したい社会貢献団体を、誰でも、今すぐ、簡単に応援することができるソーシャルグッドプラットフォームです。

ご不明な点がございましたら、お問い合わせください。

お問い合わせ：info@alle-net.com

---

=====

★メールアドレスの変更や、このメールマガジンに関するお問合せは  
asn-mailmagazine@alle-net.com（メルマガ編集部）までお願いします。

また、今後、アレルギー支援ネットワークのメールマガジンを希望されない方は、お手数ですが、件名に「配信停止希望」と書いてメールをお送りください。（メールマガジン配信準備の都合上、配信停止手続きと行き違いでお届けする場合がございますが、ご了承ください。）

★メルマガの転載について

無断転載・転送を禁じます。アレルギーの会などが活動で使用する場合は、メルマガ編集部  
asn-mailmagazine@alle-net.com までお尋ねください。

なおメールマガジンのメールアドレスには、返信はできません。ご注意ください。

☆☆☆みなさまからのご質問を募集中！アレルギーや支援ネットワークに関することなんでも OK です。ぜひお気軽にどうぞ☆☆☆

---

★みなさまからのご要望、お便り、アレルギーについての疑問などお寄せください。

発行/編集 認定 NPO 法人アレルギー支援ネットワーク

◇事務局◇

453-0042 名古屋市中村区大秋町 2-45-6

▽TEL : 052-485-5208

▽E-mail : [info@alle-net.com](mailto:info@alle-net.com)

☆◆-----